

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員会④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側 筆跡診断・ウォーキング ゲーム運営	一	筆跡研究会/かかと の会	学びピア2.1の各施設がそれぞれのイベントを持ち寄り、一緒に開催する。	対面	毎月第3土曜日※ 原則として	一
2	イベント	東京藝術大学	小中学生	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「イミグレーション・ ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境 創造科、大学 院国際芸術創造 研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭（秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師）のプロジェクト。区内の小学校2校と中学校1校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を育むエデュケーション・プログラムを実施した。	対面	11/14, 11/19, 11/ 21, 11/26, 12/19, 1/ 2/20, 2/3, 2/7, 2/1 3	208
3	イベント	東京藝術大学	大学生	新入生オリエンテーショ ン	一	一	音楽環境創造科の新入生に対して、足立区の魅力やトラスト等の制度について解説。	対面	4/4	30
4	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「Memorial Rebirth 千 住」	音楽学部音楽環境 創造科、大学 院国際芸術創造 研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。平成30年以來となる大規模イベントを東京アート千住で実施した。これまでの縁をつなぎ直すとともに、新たな仲間づくりを行った。	対面	6/1, 6/2, 7/20, 9/14, 9/21, 9/27, 10/14, 10/19, 10/20, 10/26, 10/27, 11/4, 11/9, 11/10, 11/24, 12/1, 12/8, 3/25, 3/29, 3/30	9,956
5	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住だじゅれ音楽祭」	音楽学部音楽環境 創造科、大学 院国際芸術創造 研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゅれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、だじゅれと音楽が結びついた「だじゅれ音楽」を深めていくプロジェクト。梅田地域学習センターで開催された梅田クラブナラ涼特別サロンや千本桜まつりでのワークショップ、パフォーマンスを行った。	対面	7/3, 8/21, 12/22, 3/29, 3/30	1,524
6	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表 現街」	音楽学部音楽環境 創造科、大学 院国際芸術創造 研究科	熊倉純子教授	地域の人々場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことをを目指す。「1 DAYパフォーマンス表現街」では、公募パフォーマー・ゲストアーティストらが、千住ほんちょうう商店街等で同時に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の警備・ボランティア等で千住本町商店街振興組合、千住本町五町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面	10/6	8,470
7	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 拠点形成事業「仲町の 家」	音楽学部音楽環境 創造科、大学 院国際芸術創造 研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	6,189
8	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住おばけキャンバス」	音楽学部音楽環境 創造科、大学 院国際芸術創造 研究科	長島確准教授	東京藝術大学千住キャンパスをより地域に開かれた場にすることを目標にする千住キャンパスをおばけ屋敷に見立てて、演劇、ダンス、音楽とさまざまな表現方法で演出する。	対面	8/7, 8/8	188
9	イベント	東京藝術大学	全区民（未就 学児除外）	足立区における多層の文 化芸術環境の創造に関す る調査研究委託事業「芸 術によるまちづくり事 業」	音楽学部音楽環境 創造科	田村文生教授	コンサートや動画配信、ワークショップなどを通じて、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。 コンサートやワークショップ（R5年度から）を年4～5回で実施。その一部を後日動画配信する。	オンライン 、対面	7/13, 8/31, 11/3, 1/11, 2/3	632
10	イベント	東京藝術大学	全区民（幼児 から中学生）	足立区における多層の文 化芸術環境に関する調査 研究委託事業「音楽教育 支援事業」	大学院音楽研究 科	市川恵准教授	1 学校希望にて、出張演奏会の実施や部活動指導等の実施。 2 授業補助等の映像コンテンツの作成・配布。 3 音楽教諭研修会の実施。	対面	通年	6,922
11	イベント	東京藝術大学	全区民（保育 者）	足立区における多層の文 化芸術環境に関する調査 研究委託事業 「福祉と子育て支援事 業」	音楽学部 音楽文化学専攻 音楽文芸	畠瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的な事業は以下のとおり ①区内保育施設の音楽活動に、音楽療法のノウハウとスキルを活用するため、出張型園内コンサート及び園内研修を実施 ②保育者を対象に音楽を通して、乳幼児期と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動（おとあそび研修） ③障がいのある子どもと、その家族を対象としたコンサート（二部制）	対面	①5/28, 6/18, 7/5, 7/30, 9/3, 9/5, 9/9, 9/19 ②10/8, 10/15, 11/1, 11/7, 11/26, 1/8, 1/16, 1/17 ③9/28	378
12	イベント	東京未来大学	幼児、小学生	こどもみらい祭	一	一	大学生と千住地域の小学生が実行委員となって出店等を行った。主な来場者は地域の親子。	対面	7/20	721
13	イベント	東京未来大学	小学生	学びっこフェスタ 音楽 広場 講師・運営	こども心理学部 こども心理学科	高地誠子准教授/ゼ ミ生	学びっこフェスティバル内で手作り楽器の作成と作った楽器での演奏を行う。	対面	5/6	231
14	イベント	東京未来大学	中高生	アートワークショップ	こども心理学部 こども心理学科	高橋文子准教授	大学教授と大学生の指導のもと、講義・造形活動の実施をとおして豊かな感性や自己表現力を養う。	対面	6/23	25
15	イベント	東京未来大学	中高生	異文化コミュニケーション 行動科学部モチ ベーション行動 学科	モチベーション 行動科学部モチ ベーション行動 学科	磯友輝子教授	大学のキャンパスで、心理学をテーマにした体験学習型授業に参加し、ソーシャルスキルについて学ぶ。	対面	2/16	24
16	イベント	東京未来大学	全区民	第4回小児リハビリテ ーション医学会学術集会シ ンポジウム	こども心理学部 こども心理学科	小谷博子准教授	日本小児リハビリテーション医学会の学術集会の市民公開講座としてシンポジウムを実施。テーマは「誰ひとり取り残さない未来のために」。区からは区長が登壇した。	対面	9/7	350
17	イベント	東京未来大学	全区民	あだちNPOフェスティ バル2024ボランティア	一	一	「NPOを知り、体験してもらう」ことを目的に区内で活動するNPO団体やCSR企業が出演するイベント。大学連携を図るため、東京未来大学にボランティアを募った。	対面	11/16, 17	3
18	イベント	東京未来大学	一	ながら見守りワーク ショップ（西新井地区）	こども心理学部 こども心理学科	出口保行教授	ながら見守り登録者のモチベーションや活動の質の向上に向け、防犯講話とワークショップを実施。	対面	11/2	118
19	イベント	帝京科学大学	幼児	のびのびプレイディ	教育人間科学部 幼児保育学科	飯泉祐美子教授/今 西ひとみ教授/旦 直子教授/呂曉彤教 授/三石美鶴担任 教授/木場有紀准教 授/富岡麻由子准教 授/岡山寛講師/渡 部晃子講師/安部久 美助教/小林咲里亞 担任教授/田口直子 助教/渡辺令子助 教	大学内に準備された複数の遊びのブースを親子で自由に遊びながら、家でもできる遊びを学ぶ。	対面	12/14	79
20	イベント	帝京科学大学	小学生	夢の体験教室	教育人間科学部 学校教育学科	橋木岳雪教授/大日 向浩教授/倉山智春 准教授/加藤大和助 教	小学生が複数の科学実験を体験しながら大学生活を体験する。	対面	8/24	59
21	イベント	帝京科学大学	中学生	体験！1日大学生	生命環境学部自 然環境学科	橋本慎治教授/篠原 正典教授/小林亮太 講師	中学生向けにアレンジした大学の講座を受講することで、大学生活を体験する。	対面	8/24	47

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員会④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（足立区での開設場）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
22	イベント	帝京科学大学	大学生	拉致問題啓発パネル等の展示	—	—	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネル・のぼり旗等を大学構内に展示した。	対面	12/10～16	—
23	イベント	帝京科学大学	高齢者	簡単レシピSNS発信	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	大学生と高齢者が一緒につくる「簡単レシピ」をSNSにて発信する。時短料理。	対面	9月～12月	6
24	イベント	帝京科学大学	全区民	大学生×地域のシニアおしゃべり会スペシャル	医療科学部看護学科	田中博子教授/糸井和佳教授/福井郁子講師	大学生が傾聴ボランティアとともに地域の方のお話を伺う。	対面	10/2、8	122
25	イベント	帝京科学大学	全区民	パラスポーツ体験会	教育人間科学部学校教育学科	岩沼聰一郎准教授	パラスポーツを中心に「誰とでも一緒にできるスポーツ」を体験し、パラスポーツへの理解を深める。	対面	2/2	423
26	イベント	帝京科学大学	—	清掃美化活動実施団体	大学全体	—	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が5,000円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週（月）	4
27	イベント	東京電機大学	中学生	電気の基礎講座	情報環境学部情報環境学科	築山俊史教授	大学内にて実際に電流、電圧等、電気についての講義を受講し、電子回路を作成することを通して、より専門性の高い分野の基礎を学ぶ機会を提供し、参加生徒の科学的知見を深める。	対面	9/28	28
28	イベント	東京電機大学	大学生	花いっぱいコンクール	生体反応制御研究室	—	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	10
29	イベント	東京電機大学	全区民	北千住美化推進による秋の清掃活動	大学全体	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	11/8	203
30	イベント	東京電機大学	全区民	北千住美化推進による春の清掃活動	大学全体	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	5/30	179
31	イベント	東京電機大学	—	区外プロモーションPR発表会	—	—	東京電機大学を会場に、区外にむけたプロモーションのPR発表会を行った。	対面	5/28	33
32	イベント	文教大学	小学生	あだち子ども未来起業塾	経営学部経営学科	鈴木誠教授/田中克昌准教授	小学4～6年生を対象に、SDGsについて学びながら、起業の一連の流れを体験する事業に、鈴木教授と田中准教授のゼミの生がグループメンバーとして参加。令和5年度から事業開始。	対面	8/2～4	77
33	イベント	文教大学	小学生	0からENGLISH	国際学部国際理解学科	塙澤泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面・白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体感する。	対面	6/30、1/24	89
34	イベント	文教大学	高齢者	あいもっと便	ぶんこ食堂ボランティア	—	フードロスで回収した食品を西保木間第4アパートの高齢者(条件あり)3名に声掛けを含めた訪問を大学生が行う。	対面	毎月1回	36
35	イベント	文教大学	全区民	はなはな文教マルシェ	—	—	足立成和用金庫、花畠地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市も含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/27	3,000
36	イベント	文教大学	全区民	観光研究学会の足立区ツアー	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	観光研究学会員向けに綾瀬、千住を紹介するツアーを実施。	対面	6/18	11
37	イベント	文教大学	全区民	高校生によるあだち未来スケッチ発表会司会・運営	国際学部国際観光学科	黛ゼミ生田中彬夢氏/酒井一陽氏	区内の高校から高校生が参加し、実践している地域活動を発表、交流する。	対面	11/17	42
38	イベント	文教大学	全区民	「出張！世界を旅するおはなし会」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館にて、花畠図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」を行った。 【目的・経緯】令和5年度から継続している事業で花畠図書館の認知と利用促進を図る。	対面	11/9	35
39	イベント	文教大学	全区民	花畠ガイドウォーク「花畠でハナタカってハナタカに」	—	竹市光 浅井彩心 永井優花	桜花亭での講座のあと、実際に花畠地区を歩きながら、地名に潜む自然や歴史について学ぶガイドツアーを実施した。地域のことを知りたい方々に機会として、文教大学の学生にボランティア協力を依頼した。	対面	11/30	10
40	イベント	文教大学	全区民	華又祭出展 未来への一投！ 輪投げ＆ストラックアワト豪華賞品 G e t か否か どっちかエロビー	地域連携課	—	主権者教育事業の一環として、令和4年度から学園祭に出展。オンライン投票の体験や輪投げ等ゲームを行い、参加者には啓発グッズを配付した。	対面	11/9、11/10	337
41	イベント	文教大学	全区民	花畠図書館出張展示「絵本で世界を旅しよう～数にまつわるおはなし～」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館のメイン特集コーナーにて、共同展示を行った。花畠図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」で紹介した数にまつわる絵本を展示了。 【目的・経緯】令和3年度から継続している事業で資料展示を通して花畠図書館の認知と利用促進を図る。	対面	10月～11月	—
42	イベント	文教大学	全区民	花畠図書館出張ミニ展示 「世界を旅するおはなし会」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館の入口にて、花畠図書館で毎月開催している「世界を旅するおはなし会」で使用した本を展示了。 【目的・経緯】令和5年度から継続している事業で資料展示を通して花畠図書館の認知と利用促進を図る。	対面	4/22～3/31	—
43	イベント	文教大学	全区民	くらしフェスタ（消費生活展）	国際学部国際観光学科	黛陽子准教授	くらしフェスとは、消費者団体などの活動成果の展示や、官公庁・生活関連企業などの情報提供を通じて消費者意識の啓発を図ることを目的とした内容。エシカル消費をテーマとして、文教大学生展ブースでは、パリ島農村観光プロジェクトにより村人が作成した紙書きを利用し、大学生が開発した商品を販売及びその場で手作りできるワークショップ式販売。	対面	10/26	812
44	イベント	東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	小学生	小学校自然教室事業（日光・鎌南）	—	—	小学校5年生の鎌南自然教室、6年生の日光自然教室に随行し、教員の補助をする指導補助員・養護指導員として大学生が参加。	対面	5月～12月	18
45	イベント	東京藝術大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学	—	春のごみゼロ地域清掃活動	大学全体	—	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	5/13、5/20、6/19、5/17	68
46	イベント	東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	高校生	高校生向け大学見学会	—	—	青井高校の生徒が大学を見学。一部大学では模擬授業も行った。	対面	8/1、6、18、21	10
47	イベント	東京未来大学/文教大学	大学生	食育月間(ベジタベ)	—	—	食育月間「ベジタベスター・ポップ」掲示及びリーフレット配布等の協力。	対面	6月	—
48	イベント	東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	全区民	大学生によるあだち未来スケッチACTION発表	—	大学生	地域活動に取り組む大学生が、その活動を地域に向けて披露し交流する。	対面	6/30	37
49	イベント	帝京科学大学/文教大学	—	秋のごみゼロ地域清掃活動	大学全体	—	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/7、11/22、	28
50	イベント	東京電機大学/文教大学	全区民	あだち国際交流フェア 2024 「世界のあそび 体験」ブース出店	大学全体	—	国際交流ができる場として新型コロナウイルス感染拡大の影響で4年間中止となっていたあだち国際まつりに代わるイベントを開催。 東京電機大学はあだち国際まつりに参加していた経緯から依頼。外国の文化体験を目的に、学生や留学生に各国のあそびを紹介をして貢献した。	対面	10/27	1,000

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員会④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
51	講座	放送大学	全区民	あだちの大学リレーベント企画「理科好き集まれ！科学の力大闯門講座！自分だけのがんびりでミクロの世界をのぞいてみよう！」	東京足立学習センター	最上善広特任教授・所長/坂田のぞみ非常勤講師	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。ペットボトルを使って顕微鏡を工作し植物の花粉やミジンなどを観察したのちに、本物の顕微鏡を使い、見方を比較した。特任教授・放送大学東京足立学習センター所長 最上善広 氏	対面	8/18	20
52	講座	放送大学	全区民	オメガ3脂肪酸が脳機能や心の健康に与える影響	お茶の水女子大学	小林哲幸名誉教授	オメガ3と健康の関係を学ぶ。	対面	2/16	48
53	講座	東京藝術大学	小学生	あだちの大学リレーベント企画「みんなで楽しむ音楽とダンス！」	国際芸術創造研究科/キヨレーション教育研究センター	酒井雅代修士/山崎朋非常勤講師/石川清隆特任助手/南條由起ヴァオリニスト	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。児童はクラシック音楽と身体をつかった「あそび」と「まなび」を体験。保護者はアート体験を通じた「まなび」についての講座受講。	対面	1/26	82
54	講座	東京未来大学	幼児	若者チャレンジ事業「ボールで遊ぼう！心と体を育む幼児のための運動遊び」企画・運営・講師	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下ゼミ生 志賀千太郎氏	学生のやりたい事柄を企画作りから準備、広報、当日運営まで支援。子どもの運動能力を育てるためのボール遊びの講座。	対面	7/20	9
55	講座	東京未来大学	幼児	親子で楽しむ 着ぐるみ運動会運営	こども心理学部 こども心理学科	西村実穂准教授/岩井真澄講師/各ゼミ生	大学生が企画した着ぐるみ運動会を親子で楽しむ。	対面	6/22	54
56	講座	東京未来大学	小学生	あだちの大学リレーベント企画「発達のキホンと支援のヒント」	保育・教職センター	長瀬千枝子 特任教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。子どもの発達に関する基本的な知識、発達が気になる子どもの接し方、困ったときの相談方法など、事例を交えて解説した。	対面	12/7	74
57	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	親子で楽しむ クリスマスコンサート	こども心理学部 こども心理学科	高地誠子准教授/ゼミ生	学生が企画・運営する親子向けのクリスマスコンサート。	対面	12/22	60
58	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	共催公開講座「教科書に書かれていない歴史を学ぶ 初級古文書講座」	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	山崎善准教授	初心者に向けた古文書の講座、古文書を通して現代社会を考える。	対面	11/1、8、15	29
59	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	ロボット・IoTの活用で自分らしく暮らす 介護の今とこれから	福祉保育専門学校	小林宏気非常勤講師	介護ロボットの導入と、これから介護の在り方を学ぶ。	対面+オンライン	8/3	20
60	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	共催公開講座「一人で頑張りすぎない！自分の発達とイヤイヤ期」	こども心理学部 こども心理学科	利根川智子准教授	子育ての困りごとであるイヤイヤ期について理解し、その対応などを学ぶ。	対面+オンライン	10/7	12
61	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	共催公開講座「教科書に書かれていない歴史を学ぶ 中級古文書講座」	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	山崎善准教授	初級に統いての第2弾の講座。百姓一揆の古文書を通して、江戸時代の人々の暮らしやその仕組みを知り現代社会を見直す。	対面	2/21、28	33
62	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	共催公開講座「残したい記憶を絵日記のように描く 記憶画講座」	こども心理学部 こども心理学科	高橋文子准教授	人々の持つ記憶を地域資産ととらえ、それを記憶画として表現する講座。	対面	2/14、3/7	33
63	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	学生が提案する「住自然めぐりと健康づくり」	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下ゼミ生木田幹太氏	学生が企画・運営・講師となるまち歩き。	対面	11/4	9
64	講座	東京未来大学	全区民（16歳以上）	発達障がいのある学生への合理的配慮と支援	モチベーション行動科学部/こども心理学部	山極和佳教授、大橋智講師	大学からニーズのあった「合理的配慮」をテーマとして設定。東京未来大学における合理的配慮の支援の流れと就学支援について、同学教授と講師により講義。その後は、グループごとに講師も交えて意見交流を実施。	対面	9/26	19
65	講座	帝京科学大学	大学生	動物看護コース学生の見学実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	飼育上の留意点、動物園の役割、教育活動紹介などについて紹介。	対面	5/29、6/12、6/26、7/3	100
66	講座	帝京科学大学	大学生	出張授業	教育人間科学部 幼児教育学科	木場有紀准教授	小学校でのチョウの飼育体験。	対面	7/18	30
67	講座	帝京科学大学	大学生	動物看護コース学生の見学実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	飼育上の留意点、動物園の役割、教育活動紹介などについて紹介。	対面	9/20	15
68	講座	帝京科学大学	大学生	団体対応	生命環境学部アニマルサイエンス学科	野田英樹准教授	大学3年生に向けて生物園の成り立ちと活動について説明。	対面	9/20	15
69	講座	帝京科学大学	全区民	皆様講座「犬や猫と幸せに暮らすまちづくり」	生命環境学部アニマルサイエンス学科	小泉洋子非常勤講師	犬や猫との幸せな共生に向けて必要なことを学び、動物愛護分野での地域活動の参画を目的とした講座。区内で活動するNPO法人の理事であり、大学でも教鞭を取られるなど専門的知識があられるため、講師を依頼した。	対面	9/29	24
70	講座	帝京科学大学	全区民	動物愛護講習会「犬・猫としあわせに暮らしこけるために」第3回テーマ「災害からペットを守る」	生命環境学部アニマルサイエンス学科	山本和弘教授	帝京科学大学との連携事業の一環。コロナ禍により令和元年度以降は中断していたが、令和5年度から再開した。	対面	12/21	30
71	講座	帝京科学大学	全区民	あだちどこでも大学「知らなかった人権の本質とその未来を考える」	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	佐野地域学習センターで開催したあだちどこでも大学のコーディネート。	対面+オンライン	12/14	16
72	講座	帝京科学大学	全区民（16歳以上）	共催公開講座「睡眠の科学から良質な睡眠の獲得へ」	総合教育センター	小林亮太講師	睡眠不足の弊害と定義、良質な睡眠とは、その対応策などを学ぶ。	対面+オンライン	9/28	49
73	講座	帝京科学大学	全区民（16歳以上）	共催公開講座「整形外科医が教える上手な体の使い方」	医学教育センター	渡會公治特任教授	身体の情砂使いの方を学び日々実践することで、体に負担をかけず楽に動かせることを実践と座学を通して学ぶ。	対面	10/5、11/2、2/1	76
74	講座	帝京科学大学	—	スポーツ指導者スキルアップ講習会 運動機能向上のためのトレーニング（高齢者の運動指導）	医療科学部東京理学療法学科	村上憲治教授	加齢に伴う体の変化や、効果的な運動などを学ぶ。高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方等を対象とした運動指導の実践講習会。区スポーツ振興課受託事業。	対面	2/24	23
75	講座	東京電機大学	小学生	ChatGPT AIを使って大学生とウェブサイトを作成しよう！	ボランティア部らいふ	—	大学生が企画運営する講座、AIを使ってウェブサイトを作る。	対面	8/8	23

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（足立区での開設場）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
76	講座	東京電機大学	小学生	科学・ものづくり体験教室	工学部自然科学系/応用化学科/先端機械工学科/先端科学技術研究科/未来科学部情報メディア学科/電気電子システム工学科/電子システム工学科	田中里美講師/保倉明子教授/鈴木孝宗講師/小林宏史教授/津國和泉博士研究員/池田雄介教授/長澤光晴教授/井上竜介助手/佐々木元気/五十嵐洋教授	自宅で動画をみながら、科学＆ものづくり体験。複数のコースから好きな1コースを選んで体験する。	オンライン	8月	220
77	講座	東京電機大学	小中学生	関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理者事業「夏休みキッズ模型講座」	未来科学部建築学科	都市計画研究室学生	子どもを対象に住環境教育や建物作りを学ぶワークショップ。講座名は「親子で挑戦！建築模型づくり！」。研究室を通じて依頼した学生が参加。	対面	7/29	11
78	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	「浅読み」のススメ 深読みしすぎないコミュニケーション論	理工学部理工学科	小林春美特定教授	コミュニケーションを学ぶ。	対面+オンライン	6/22	51
79	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	電大イブニングセミナー 日本の伝統と未来につなぐ 現代音楽における能楽声楽	—	—	能の謡の唱法で西洋現代音楽の演奏活動を行う能声楽家 青木涼子氏を講師に招いた講演会。	対面	11/22	69
80	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	電大de学びピアコンサート バイオリンとチェロの調べ	—	—	出前コンサート。出演者はおたまじゅくクラブ yumi&yumi。	対面	8/31	107
81	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	あだちどこも大学「今学びたい！移動通信技術の進化 未来のサイバースociety像」	—	宮保憲治名誉教授	梅田地域学習センターにおけるあだちどこも大学の開催。	対面+オンライン	3/13	32
82	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	産学連携技術促進事業 「高齢者・障がい者を支援するものづくりのテクノロジーとその実用化について」	工学部機械工学科	井上淳教授	人間支援工学の観点から、ビジネスへの活用を学ぶ。	対面	11/22、29	27
83	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	産学連携技術促進事業 「災害から安心安全を確保する企業必見の防災テクノロジーを学ぶ」	レジエンストスマートシティ研究室	小林亘特別専任教授	防災についての見識を広げ、新たな製品や事業に展開するきっかけを作る。	対面	6/27、7/4	22
84	講座	東京電機大学	全区民（16歳以上）	産学連携技術促進事業 「電大の面白い研究室を見学してビジネスのヒントを得よう！」	医用電子回路研究室	植野彰教授	大学の様々な研究に触れて、ビジネスのヒントを得る。	対面	2/13	14
85	講座	文教大学	小中学生	夏休みスペシャル！小中学生ナマガくん広場	人間科学部人間科学科	二宮雅也教授ゼミ	大学生が運営する子ども向けの居場所。	対面	8/4、11、17、18、21、25、28	203
86	講座	文教大学	大学生	サービスラーニング	国際学部国際理解学科	渡邊三津子准教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニケーションをベースとした実際の課題への対応、自らできることを活動を通して学ぶ。	対面	通年	—
87	講座	文教大学	大学生	オリエンテーション	国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	・講義が多文化社会と共生をテーマにしているが、生き物同士の共生や、人と自然に対する共生に気付くきっかけにしたい。 ・新入生のオリエンテーション。グループ活動を通じて、学生間コミュニケーションの機会を与える。	対面	5月	110
88	講座	文教大学	大学生	団体対応	国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	ゼミ単位における生物園視察。	対面	6/19	4
89	講座	文教大学	全区民（16歳以上）	あだちどこも大学 「ニユースだけでは分からない『オーパーツリズム』	国際学部国際観光学科	中井治郎専任講師	花畠地域学習センターで開催したあだちどこも大学講座のコーディネート。	対面+オンライン	11/30	53
90	講座	文教大学	全区民（16歳以上）	なぜ名字・地名は漢字二字が多いの？	地域連携センター	早川明夫講師	名字や地名の歴史を学ぶことで、身近なものにも歴史があることを知り、その面白さを知る講座。	対面	3/2	49
91	委員	放送大学	—	足立区統合電話センター運営評議会委員会	教養学部情報コース	中谷多哉子教授	令和6年1月～9月分の業務について、事業運営が適正にされているかどうか評価を実施し、助言者として出席いただいた。	対面	11/11	—
92	委員	東京藝術大学	—	足立区文化芸術劇場運営評議会委員会	音楽学部音楽環境創造科/大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価	対面	12/9、1/20	10
93	委員	東京未来大学	—	足立区ギャラクシティ指定管理者選定審査会	こども心理学部	渡辺千歳教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の選定。	対面	7/24、8/26	10
94	委員	東京未来大学	—	パラスポーツ推進協議会	こども心理学部	藤後悦子教授	パラスポーツの推進について審議又は調査を行い、スポーツを通じた共生社会を実現することを目的に設置。	対面	5/27、9/30、12/17、3/28	83
95	委員	東京未来大学	—	子ども支援専門部会特別部会員	こども心理学部	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	対面	7/23、10/17、12/19、2/13	72
96	委員	東京未来大学	—	居場所を兼ねた学習支援事業委託プロポーザル選定委員会	こども心理学部	小林久美教授	プロポーザル選定委員会の学識委員（委員長）。令和元年度から継続的に就任している。	対面	8/21、10/15、12/18	20
97	委員	帝京科学大学	—	子育てサロン委託事業者選定委員会	教育人間科学部幼児保育学科	旦 直子教授	新規開設する子育てサロンの運営委託事業者の選定。	対面	10/7、11/21、1/22	30
98	委員	東京電機大学	—	千住大橋駅前用地活用事業者選定委員会	未来科学部建築学科	野口 雅司准教授	千住大橋駅前用地を活用する事業者を選定するための選定委員会の有識者委員。	対面	9/30、12/24、2/27	15
99	委員	東京電機大学	—	関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理選定等審査会（評議）	未来科学部建築学科	菅原大輔准教授	指定管理の前年度業務の審査。	対面	8/2	6
100	委員	東京電機大学	—	足立区情公開・個人情報保護審議会委員	システムデザイン工学科情報システム工学科	松井加奈絵准教授	情報公開制度及び個人情報保護制度の重要事項に関して区長からの諸問を受けて答申する。	対面	7/10、3/24	—
101	委員	東京電機大学	—	足立区個人情報保護評議会専門アドバイザー	システムデザイン工学科情報システム工学科	松井加奈絵准教授	業務委託の安全管理措置が十分であるか評価する。	オンライン	4/18、5/23、6/20、9/20、10/21、11/20、12/19、1/28、2/28、3/26	—
102	委員	東京電機大学	—	プラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託プロポーザル選定委員	未来科学部建築学科	百田真史教授	中間処理施設についての選定会の学識委員。環境審議会副会長。	対面	1/20、3/12、3/27	15

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員会④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
103	委員	文教大学	—	災害用備蓄包括管理委託 事業プロポーザル	経営学部	客員教授 定野 司	災害用備蓄包括管理を委託する事業者を選定する。	対面	5/17、8/9、9/10	21
104	委員	文教大学	—	足立区起業家支援塾プロ ポーザル選定委員会委員	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区起業家支援塾（創業者対象のセミナー）についての選定委員会の学識委員。	対面	11/14、1/16、 2/13	15
105	委員	文教大学	—	創業プランコンテスト選 考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/13~28、7/22	10
106	委員	文教大学	—	創業支援施設入居者選 考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、3/27	8
107	委員	文教大学	—	新製品・新事業開発補助 金選考委員	経営学部経営学科	田中克昌准教授	新製品・新事業開発補助金の採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、26	—
108	委員	文教大学	—	関原の森・愛恵まちづ くり記念館指定管理選定等 審査会（選定）	国際学部国際観 光学科	海津ゆりえ教授	指定管理業者の選定。	対面	7/8、8/21、9/5	18
109	委員	文教大学	—	文教大学外部評価委員会	—	—	区職員が大学の外部評価員として、教学全般に関する事項その他を評価する。	書面	—	—
110	委員	文教大学	—	千住エリアデザイン基礎 調査業務委託事業者 プロポーザル選定委員会	国際学部国際観 光学科	海津ゆりえ教授	千住に望ましいエリアデザイン計画策定に向けた事業者選定のため。	対面	6/18、7/30、 9/24	15
111	委員	文教大学	—	足立区外へ向けたシティ プロモーション支援業務 委託プロポーザル選定委 員会	国際学部国際観 光学科	中井治郎専任講師	足立区外へ向けたシティプロモーション支援業務委託プロポーザル選定委員会。	対面	3/5	5
112	委員	文教大学	—	足立区政資料室デジタ ルアーカイブ推進委員会	情報学部情報社 会学科	西川和専任講師	区政資料室が所蔵する行政資料のデジタル化およびホームページ公開の検討。	オンライン	5/29、7/3、 9/6、10/30、 1/29、3/14	—
113	委員	文教大学	—	あだち子どもの未来応援 基金審査会	国際学部国際理 解学科	山田修嗣教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員（会長）。	対面	6/3、11/11	10
114	委員	文教大学	—	ひとり親家庭交流事業 「サロン豆の木」運営業 務委託事業者評価委員	国際学部国際理 解学科	山田修嗣教授	次年度の契約更新可否を審議するために実施。オブザーバー（学識経験者）として出席していただくため、大学連携担当を通して先生に依頼。	対面	11/14	5
115	委員	放送大学/千葉大 学	—	足立区基本計画審議会	—	宮本みち子名誉教授	足立区基本計画の策定に間に必要な事項を調査審議する。	対面	6/10、9/4	—
116	委員	東京藝術大学/東 京未来大学/文教 大学	—	足立区ギャラクシティ運 営評価委員会	こども心理学部 こども心理学科/ 音楽学部/教育学 部学校教育課程	渡辺千歳教授/伊志 嶺絵里子非常勤講師 /山縣朋教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	10/15,10/22	12
117	委員	東京藝術大学/東 京電機大学	—	足立ブランド認定選考委 員会	美術学部デザイ ン学/工芸学部先端 機械工学科	長濱雅彦教授/清水 康夫教授/森晋也 教授	足立ブランド認定に係る選考委員。	対面	12/16、1/29、 2/3、2/19、2/27	—
118	委員	東京未来大学/帝 京科学大学	—	評議会員会	こども心理学部 こども心理学科/ 教育人間科学部 学校教育学科	小谷博子准教授/持 田尚准教授	公益財団法人足立区スポーツ協会における評議員（学識）。	対面	6/18、2/27	18
119	委員	東京未来大学/帝 京科学大学	—	足立区子ども施設指定管 理者等選定審査会	こども心理学部 こども心理学科/ 教育人間科学部 幼児保育学科	佐々木由美子教授/ 富岡麻由子准教授	足立区子ども施設指定管理者等選定審査会の学識委員。	対面	7/31、8/6、7、 10/11	27
120	委員	東京電機大学/文 教大学	—	公益信託あだちまちづ くりトラスト運営委員会	システムデザイ ン工学部情報シ ステム工学科/國 際学部国際観光 学科	松井加奈絵准教授/ 清水麻帆准教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会において、助成の給付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。	対面	7/25、11/22、 2/12	76
121	委員	東京電機大学/文 教大学	—	・宮城小学校施設更新に 伴う設計等業務委託プロ ポーザル選定委員会	未来科学部建築 学科 人間科学部人間 科学科	土田寛 教授 大島隆代 准教授	プロポーザル選定委員会の学識委員	対面	7/12、11/15 1/15、2/19	19
122	会議	東京藝術大学	—	あだち区展2024図工・ 美術部門審査会	美術学部油画專 攻	小瀬村真美准教授	外部審査員として、図工・美術部門出品作品から入賞作品を選考する。	対面	6/17	5
123	会議	東京藝術大学	—	あだち区展2024絵画部 門審査会	社会連携セン ター	栗原良恵准教授	外部審査員として、絵画部門出品作品から入賞作品を選考する。	対面	6/16	3
124	会議	東京未来大学	—	足立区公契約等審議会	モチベーション 行動科学部モチ ベーション行動 学科	田中真奈美教授	足立区公契約条例に基づき入札及び契約手続の運用状況等について調査・審議を実施する。	対面	7/5、12/6、2/12	11
125	会議	東京未来大学	—	常東あんしん拡大推進会 議運営委員会	エンロールメン ト・マネジメン ト局	青柳史武アドミッ ションオフィサー	住民と事業所代表者との打ち合わせ（推進会議の前）。	対面	6/12、7/12、 10/31、12/11、 2/14	50
126	会議	東京未来大学	—	常東あんしん拡大推進会 議	エンロールメン ト・マネジメン ト局	青柳史武アドミッ ションオフィサー	住民と事業所代表者との打ち合わせ。	対面	8/30	50
127	会議	東京未来大学	—	教育利用研究会「小 学校」	こども心理学部 こども心理学科	小林祐一准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。 引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/11、2/20	14
128	会議	東京未来大学	—	ぼうけんあそび運営相談	こども心理学部 こども心理学科	横畠泰准教授	ぼうけんあそびの運営についてアドバイスをいただく。	オンライン	11/22	2
129	会議	東京未来大学	—	東京未来大学外部評議 委員会	—	—	区職員が大学の外部評議員として、大学の理念・目的に関する事項その他を評価する。	対面	12/9	—
130	会議	東京未来大学	—	足立区地域自立支援協議 会	こども心理学部 こども心理学科	小谷博子准教授	足立区地域自立支援協議会の学識委員	対面	6/7、6/25、 10/3、2/20、27	99
131	会議	帝京科学大学	—	足立区ベット防災対策ア ドバイザー	生命環境学部 アニマルサイエ ンス学科	教授 山本 和弘	ベット防災対策の取組を効果的に行うため、ベット防災対策や防災行政について必要な助言等を行う。 また、防災に関する講演・講話を行う。	対面	1/31	5
132	会議	帝京科学大学	—	教育利用研究会 「幼稚園・保育園」	教育人間科学部 幼児保育学科	木場有紀准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。 引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/9、12/3	13
133	会議	帝京科学大学	—	教育利用研究会 「中学校」	教育人間科学部 幼児保育学科	高橋文子准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。 引き続き新規プログラムの開発を行う。	オンライン	10/29	7
134	会議	文教大学	—	足立区駅前滞留者対策ア ドバイザー	経営学部	客員教授 定野 司	駅前滞留者対策の取組を効果的に行うため、必要な助言等を行う。	対面	12/6、3/13	100

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員会④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（実立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
135	会議	文教大学	—	経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画による調査・審議を行う。	対面	8/5、1/30	25
136	会議	文教大学	—	生活指導担当者連絡会	教育学部発達教育課程	会沢信彦教授	生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導の諸問題について情報交換することを通して、各学校における生活指導の中心的役割を担うための資質・能力を向上させる。	対面	7/8	102
137	会議	文教大学	—	パークミーティング	—	—	桜花亭主催の地域の会議。文教大学地域連携課も出席のうえ、地域の各種イベントの情報を共有した。	対面	6/18	19
138	会議	放送大学/千葉大学/東京未来大学	高齢者	足立区孤立ゼロプロジェクト推進連絡会	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	宮本みち子名誉教授/高橋一公学部長/学生2名	孤立ゼロプロジェクトの推進に係る情報交換や区民の意識啓発に向け、委員として助言等を行っている。	対面	2/10	27
139	会議	東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学	大学生	大学祭等の実行委員の情報交換会	—	—	実行委員が一堂に集まり、お互いの大学祭にに関して情報交換を実施。区からはあだち広報等、大学祭の周知に協力できる支援を説明した。	対面	6/18、12/16	41
140	会議	六大学	—	実務者会議	—	—	各大学の実務者と区で情報共有を行う。	対面	7/5、10/22、2/28	61
141	会議	六大学	—	六大学学長会議	—	—	六大学の学長と区長による会議。今回のテーマは「大学の学びを地域社会へ～切れ目のない学びの機会提供～」。	対面	8/29	55
142	実習生受入	東京未来大学	大学生	心理実習	心理臨床センター	特任講師 石倉 篤氏	公認心理師養成課程の学生を対象に、臨床現場への理解を深めるため、当センターの心理職から担当する事業や心理職の役割等について講義および施設見学を実施。	対面	6/21	25
143	実習生受入	東京未来大学	大学生	足立区インターンシップ事業	キャリアセンター	—	人事課からの依頼 学生の職業意識の向上及び足立区に対する理解を深める。	対面	8/19～23	5
144	実習生受入	東京未来大学	大学生	足立区保育実習生を入れ事業	こども心理学部 こども心理学科	—	保育士資格を取得するために実習を実施。	対面	6/24～2/28	36
145	実習生受入	帝京科学大学	大学生	母性看護学実習	医療科学部看護学科	藤井美穂子教授	授業内で多様性社会推進課長が講義。L・フェスタに大学生が参加。	対面	11/9、10、13、19、12/3、2/6	29
146	実習生受入	帝京科学大学	大学生	在宅看護学実習Ⅰ	医療科学部看護学科	福井郁子講師	内容は実習。開始した経緯は毎年受け入れし実習を行っているから。	対面	2/18～20	6
147	実習生受入	帝京科学大学	大学生	在宅看護実習	医療科学部看護学科	福井郁子講師	臨地在宅実習。	対面	3/4～3/6	6
148	実習生受入	帝京科学大学	大学生	在宅看護学実習Ⅰ	医療科学部看護学科	—	2年生の在宅看護学実習Ⅰのための地域包括支援センター実習。	対面	2/18～20、3/4～6	4
149	実習生受入	帝京科学大学	大学生	社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	—	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	8/13～9/13、11/8～12/6	4
150	実習生受入	帝京科学大学	大学生	インターン・実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科	—	キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	9/16～21	5
151	実習生受入	文教大学	大学生	インターンシップ	経営学部経営学科	新井立夫教授	主権者教育事業の扱い手発掘のため、令和5年度からインターンシップの受入れを開始。	対面	8/21～30	5
152	実習生受入	文教大学	大学生	心理実習	—	—	大学院生2名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。前期は実習、後期はボランティアとして1年間継続して実施。	対面	通年	2
153	実習生受入	東京未来大学/文教大学	大学生	インターンシップ事業	こども心理学部 経営学部経営学科	—	・主に大学4年生を1週間程度、各所属に派遣し、仕事体験をしてもらう。 ・足立区の職場を体験し、働くイメージをもってもらうことで、足立区の入区希望者を増やすことが目的。	対面	8/19～8/23 8/26～8/30	9
154	実習生受入	東京未来大学/文教大学	大学生	心理実習	—	—	学部生38名をこども支援センターへんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明した。	対面	5/13	38
155	実習生受入	帝京科学大学/文教大学	大学生	学芸実習	生命環境学部自然環境学科/アニマルサイエンス学科	—	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/17～8/27	60
156	大学授業と連携	東京未来大学	大学生	地域連携Ⅰ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	4月～8月	2
157	大学授業と連携	東京未来大学	大学生	医療的ケア児の疾患理解とたん吸引について	こども心理学部 こども心理学科	小谷博子准教授	こども支援センターへんきと足立区保育園の看護師が大学の授業において、医療的ケア児の疾患理解に関する座学、たんの吸引に関する実習を実施。	対面	11/14、15	262
158	大学授業と連携	帝京科学大学	大学生	保健医療福祉行政論（地域保健における食品衛生）	医療科学部看護学科	糸井和佳教授	授業において、食品衛生行政に関する講義。担当教授からの依頼を受け、令和元年度から実施。食品監視係長による講話を実施。	対面	5/30	86
159	大学授業と連携	文教大学	大学生	公共経営実地演習	経営学部経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。内府複数部署がプレゼン資料の作成に協力した。	対面	通年	23
160	大学授業と連携	文教大学	大学生	大学新規採用職員向け研修	—	—	大学の新規採用職員向けの研修の一環で足立区を紹介。シティプロモーション課職員が登壇し開設した。	対面	4/26	20
161	大学授業と連携	文教大学	大学生	地域プロジェクト演習Ⅱ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案をまとめる演習で、区から課題の提供や地域団体の紹介を行った。	対面	9/19～1/16	13
162	大学授業と連携	文教大学	大学生	専門ゼミナールⅠ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	エコツーリズムの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する授業。足立区の現状に区職員が解説した。	対面	6/20	10
163	大学授業と連携	文教大学	大学生	観光政策論	国際学部国際観光学科	清水麻准教授	観光政策について考察する授業。シティプロモーション課長がゲストとして登壇した。	対面	5/23	9
164	大学授業と連携	文教大学	大学生	地域計画特論	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	今日の地域づくりにおける将来ビジョンや計画設計技術を学ぶ授業。シティプロモーション課長が登壇し、区の事例を紹介した。	対面	12/4	8
165	大学授業と連携	文教大学	大学生	地域調査演習	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	区職員へのインタビューを通して、地域課題等を考える。シティプロモーション課職員が参加。	対面	12/10	4
166	調査研究	東京未来大学	—	水害発生時の保育施設の対応に関する研究	こども心理学部 こども心理学科	西村実穂講師	研究にあたり区内保育施設でアンケート調査を実施した。	書面	6/4	—
167	調査研究	帝京科学大学	小学生	モルモットふれあい事業の参加者へのインタビュー調査	博物館教育研究所	並木美砂子教授	小学生で、モルモットふれあいの場に参加したかと参加していないかにインタビュー。	対面	10/26、10/30、11/2、11/13、11/20	—
168	調査研究	帝京科学大学	高齢者	認知症介護者が認知症者に抱く感情の様相	医療科学部看護学科	本田順子講師	認知症者に怒りや不安、共感が高まるなどの様々な感情を生じる中で、メンタルヘルスが悪化しやすい状況がある。一方介護することへの意義を見出すことによってポジティブな感情を高めているものもあるという背景があることから、認知症介護者が認知症者に抱く感情の対処方法を認知面から明らかにするため、認知症介護者が「状況や出来事かどうかのようになると感じる」という感覚をもつて、家族介護者教室へ参加されいらっしゃる家族介護者へインタビューを依頼し、講師と対面インタビューの場を設定した。	対面	1/18	2
169	調査研究	帝京科学大学	—	認知症介護者が認知症者に抱く感情の様相	医療科学部看護学科	本田順子講師	内容は、認知症者を介護している家族へのインタビューする。開始した経緯は本田教授から当センターへ直接依頼があった。	対面	11/29	1

令和6年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」①イベント②講座③委員会④会議⑤実習生受入⑥大学授業と連携⑦調査研究⑧企業等連携⑨研修の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順）放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分）幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
170	調査研究	帝京科学大学	—	認知症介護者が認知症者に抱く感情の様相	医療科学部看護学科	本多順子講師	認知症介護者が認知症者に抱く感情の様相の特徴や傾向、介護者の属性等との関係性についての調査への協力。	対面	1/20	1
171	調査研究	帝京科学大学	—	モルモットのストレス調査	博物館教育研究所	並木美砂子教授	ストレスの調べ方として錦糸を口の中に入れ、唾液中の成分「コルチゾル」の変化を調べるのが一般的ですが、簡単に調査するために耳穴体温で測れるか実験をしました。	対面	4/4	—
172	調査研究	帝京科学大学	—	リクガメの消化速度に関する研究への協力	生命環境学部アーバンマサインス学科	野田英樹准教授	全国のリクガメを飼育している園館で消化速度の一斉調査を行う。生物園はケヅメリクガメのデータを提供。	オンライン	5月、8月、11月、2月	—
173	調査研究	東京電機大学	—	チョウの行動撮影	未来科学部口ポット・メカトロニクス学科	藤川太郎准教授	高速度カメラを設置し、レンズの前を飛翔した蝶を撮影する。	対面	10/7	—
174	調査研究	東京電機大学	—	足立区公共施設マネジメント推進委員会学識経験者アドバイザー	未来科学部建築学科	山田 あすか教授	公共施設等総合管理計画の改訂にあたり、足立区公共施設マネジメント推進委員会学識経験者アドバイザーに対し個別に意見聴取を行った。	対面	12/25	1
175	企業等連携	東京未来大学	大学生	東京未来大学「プレゼンテーションII」発表会	モチベーション行動学部/子ども心理学部	田中翔キャンバスアドバイザー/青柳武史アドミッショナーフィサー	東京未来大学の1年生を対象とした「プレゼンテーション」の授業（5クラス200名）において、「大学生地域活動プラットフォーム」に参加している足立ブランド認定企業（16社）を対象としたテーマに沿った企画の学生による発表会。発表テーマ：「足立ブランド認定企業と連携し、足立区を活性化させよう。」	対面	2/7	200
176	企業等連携	帝京科学大学	—	千住ブロック多職種連携研修会	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	医療・看護・介護多職種連携のため。山田教授による講義「地域セーフティネット」。	対面	5/17	76
177	企業等連携	帝京科学大学	—	地域ケアネットワーク	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	医療福祉学の学生による「千住便利隊」の取り組み報告会。	対面	1/17	60
178	企業等連携	東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	総務部地域連携事業担当	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	書面	通年	—
179	企業等連携	東京電機大学	—	産学連携技術促進事業 技術相談事業	研究推進社会連携センター	清水信宏産学連携コーディネーター	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	随時	—
180	企業等連携	東京未来大学/帝京科学大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	—	—	大学生を対象にした区内企業の見学会。足立区、NPO足立フォーラム21、東京未来大学の三者協定のもと実施。	対面	通年	146
181	研修	東京未来大学	—	ぼうけんあそびサポーター講習会講師	こども心理学部 こども心理学科	横畠泰希准教授	ぼうけんあそびに関わるサポーターに対して、子どもとの関わり方についてアドバイスをいただく。	対面	2/15	6
182	研修	東京未来大学	—	1年次（初任者）研修	こども心理学部 こども心理学科	小林祐一准教授	「コーチング」についての基本的な理解を深め、日々の児童・生徒への指導に生かすことを目的とする。	対面	7/9、9/10	273
183	研修	東京未来大学	—	主任教諭任用時研修	こども心理学部 こども心理学科	小林祐一准教授	校内で効果的なOJTを行うために、「コーチングスキル」を習得することを目的とする。	対面	7/18	100
184	研修	東京未来大学	—	子どもの接し方～子どもの心を読み解く～コミュニケーション実践法～	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	磯友輝子教授	あだち放課後子ども教室の安全管理員（以下、スタッフと言う）及びボランティア（折り紙等）を対象に、子どもに接する際の効果的な声掛けや、対応のヒントを学ぶ。また、放課後子ども教室の意義とともに、スタッフの子どもへの対応スキルとモチベーションの向上を目指すことを目的として研修を実施した。	対面	2/28	34
185	研修	東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	大学生	公立保育士採用説明会	こども心理学部 こども心理学科/ キャリア支援センター/ 支援部越谷キャンパス	—	区内の保育士養成学校に卒業生の現役職員が出席し、足立区の公立保育園の説明会を実施。職員採用試験の受験者増加が目的。	対面	6/19、25、26	50